

2018年6月5日

関係機関長 殿

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部
学部長 南井 正廣
(公印省略)

ドイツ語専任教員の公募について (ご依頼)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度本学部では、下記の要領にてドイツ語専任教員を公募いたします。

つきましては、ご多用のところ恐縮に存じますが、貴職関係方面へ周知くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 任用職名：助教、准教授または教授
2. 担当科目：主として全学共通教養教育科目（ドイツ語）、
およびグローバル・コミュニケーション学部専門科目
3. 採用人員：1名
4. 勤務形態：常勤（任期なし）
5. 採用予定日：2019年4月1日
6. 応募資格：
 - (1) 近現代ドイツ語圏の歴史・社会・文化に関連する学問分野で、博士号を取得している者、
またはそれに準じる教育上・研究上の業績を有する者
 - (2) ドイツ語の教育経験を有する者（大学レベルが望ましい）
 - (3) ドイツ語圏の大学での1年以上の留学経験を有し、高度なドイツ語運用能力を有する者
（Goethe-Zertifikat C1以上の取得が望ましい）
 - (4) 採用後、近畿圏に居住できる者
7. 義務時間および主な業務：
 - (1) 担当授業時間数は、1週6～7コマを基準とする。
 - (2) 全学共通教養教育科目（ドイツ語）、学部専門科目担当に加えて、全学語学教育運営関連業務、学部運営関連業務、入試関連業務、各種委員会等の関連業務、Goethe-Zertifikat A1/A2の検定試験の運営業務などを担当する。
8. 提出書類：
 - (1) 履歴書および業績書 各1部
書式は同志社大学ホームページを参照のこと
(ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>)
 - (2) 主たる研究業績 3点
(抜き刷り、またはコピー可。日本語の業績にはドイツ語で400語程度の要約、ドイツ語の業績には日本語で1,200字程度の要約を付すこと)
 - (3) 応募理由書 1部（これまでの教育・研究実績をふまえ、今後の教育・研究に関する抱負



を日本語 2,500 字程度にまとめたもの)

(4) 学位証明書(修士、もしくは博士課程修了証明書)のコピー 1部

(5) Goethe-Zertifikat C1以上の取得者は、合格証明書のコピー 1部

9. 応募締切日: 2018年9月3日(月)17時までに必着のこと

10. 提出先および問い合わせ先:

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部

学部長 南井 正廣

注) なお、封筒の表に「ドイツ語専任教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留便で送付すること(宅配便可)

※本件に関する問合せは、Eメール(jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp)でお願いいたします。電話での問合せはご遠慮ください。

11. その他:

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求められることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求める。
- (3) 必要に応じて(日本語およびドイツ語による)面接を行う。また、模擬授業の実施を求められることがある。
- (4) 面接の際の交通費の支給は本学部の規程に基づく。
- (5) 選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記8.の提出書類は原則として返却しない。
- (7) 夏期休暇中に連絡先が変わる場合は、変更期間、変更先の住所、電話、ファックス番号、Eメールアドレス等を記載したものを必ず応募書類に同封すること。

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以上